

本年度の結果

	数 学
阿蘇市	53
全国	57.2

領域別	数と式	図形	関数	資料の活用
阿蘇市	58.1	46.1	58.0	50.5
全国	64.9	51.4	56.4	53.8

観点別	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形に知識・理解
阿蘇市	35.2	73.5	64.0
全国	41.1	77.7	65.6

本年度の主な結果について

- 関数の意味を理解するとともに、与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ることができることなどに改善が見られた。
- 領域別にみると、「数と式」「図形」「資料の活用」に課題がある。
- 観点別に見ると、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」に課題がある。
- 根拠を明らかにして筋道を立てて数学的な表現を使って説明することには引き続き課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 整式の加法と減法の計算ができる(1)
- 関数の意味を理解している(4)
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる(7(1))

【課題】

数と式

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる(6(1))
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる(6(2))
- 数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる(6(3))

図形

- 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる(9(1))
- ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる(9(3))

資料の活用

- 与えられたデータから中央値を求めることができる(5)
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる(8(3))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「数学の勉強は好き」「数学的勉強は大切だと思う」は、ともに全国平均を上回っており、前回より改善が見られた。
- 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いているか」は、全国平均を上回っている。

【課題】

- 「数学の授業の内容はよく分かるか」は前回と比較して改善が見られていない。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 単元及び1単位時間の構想プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りや適用問題を行う。
- 生徒が自ら「問い」を見だし、課題解決の見通しを持たせるとともに、「学習課題」に対する「まとめ」「めあて」に対する「振り返り」を行う。
- 様々な問題に数学を活用して解決できるように、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、言葉や式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いる能力を培う。
- 数学的な見方・考え方を働かせながら数学的に考える資質・能力を育成する。

【日常的な取組】

- 生徒主体の授業づくりを目指し、数学的活動を通じた活動や効果的なICTの活用を図る。
- 少人数指導やTT指導等で基礎・基本の習熟、補充的・発展的な問題の指導を行う。

【家庭学習等】

- 生徒の課題や学習意欲等に応じた家庭学習や自主学習を進める。